

さくら学級 作業 学習指導案

日 時 2025 年 1 0 月 1 5 日 (水)
第 3 校時 10:45～11:35
対 象 さくら学級 2 組 13 名
会 場 さくら学級⑤教室

1 単元名

「季節の貼り絵 ハロウィン (秋)」

2 単元の目標

- ・学校美化の一端を担うことで、学校の一員であることを意識させる
- ・個の力や特性に応じて作業種を選び、それぞれが役割を果たすことで、自己肯定感や他者を尊重する気持ちを養う。

3 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
① 紙を細かくちぎることができる。 ② 色の特性や違いを理解できる。 ③ 作業学習のルール（挨拶や言葉遣い・時間内集中など）を理解し実行できる。	① 作品が美しく見えるよう、大きさを考えて紙をちぎることができる。 ② 同系色であっても色を混ぜるなどの工夫ができる。	① 決められた作業を 3 5 分間集中して行おうとしている。 ② あいさつや言葉遣いなど作業中のルールに従って取り組もうとしている。

4 単元指導計画（全 3 時間扱い）

時	目標	学習内容 ・ 学習活動	評 価
1	・作業学習のルール（あいさつや言葉遣い、3 5 分間集中）を意識して学習に取り組む。 ・与えられたパーツの仕上がりをイメージしながら貼り絵作業を行う。	・作業学習のルールを確認する。 ・見本に従って、担当した個所の貼り絵を行う。	アー①、②、③【観察】 イー①、②【観察】 ウー①、②【観察】

2 (本時)	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習のルール（あいさつや言葉遣い、35分間集中）を意識して学習に取り組む。 ・与えられたパーツの仕上がりをイメージしながら貼り絵作業を行う。 ・完成に向けて作業方法やスピードを意識する。 ・全体の仕上がりを考えて作業を進める。 ・意見交換に参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習のルールを確認する。 ・前時で取り組んだ作業内容や担当したパーツを確認し、集中して作業を行う。 ・完成に向けてバランス（配色や紙の密度）を考えながら作業を行う。 ・途中経過について意見交換を行う。 	<p>アー①、②、③【観察】</p> <p>イー①、②【観察、作品】</p> <p>ウー①、②【観察】</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習のルール（あいさつや言葉遣い、35分間集中）を意識して学習に取り組む。 ・前時の意見交換で出た意見を反映させて、作品を完成させる。 ・作品を大切に扱い、掲示する場所やバランスを考えて掲示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業学習のルールを確認する。 ・前時の意見交換で出た意見を確認し、完成に向けて仕上げを行う。 ・完成した作品を掲示する。 	<p>アー①、②、③【観察】</p> <p>イー①、②【観察、作品】</p> <p>ウー①、②【観察】</p>

5 生徒が主体的に学び続けるための工夫（個別最適な学び）







- ・自分に適する作業種を自ら選択することで持続的に作業を行えるようにする。
 - ・自分のペースで取り組めるようにする。
- （座席の工夫・ストレスなく作業を進められるような道具の用意も自分のペースを持続させるための工夫）
- ・様々な作業を体験させることで、自分に合った仕事内容を見つけ、就労に向けた強みを発見できるようにする。
 - ・振り返りの作業日誌を書くことで、自分の成長の様子を可視化し、次なる課題への意欲につなげる。

6 本時の指導（全3時間中の2時間目）

（1）本時の目標

- ・作業学習のルール（あいさつや言葉遣い、35分間集中）を意識して学習に取り組む。
- ・与えられたパーツの仕上がりイメージしながら貼り絵作業を行う。
- ・完成に向けて作業方法やスピードを意識する。
- ・全体の仕上がりを考えて作業を進める。
- ・意見交換に参加する。

（2）本時の展開

	○学習活動 ◎主体的に学び続けるための視点	□指導上の留意点 ◆評価
導入 5分	<p>○あいさつ練習・作業ルールの確認をする。</p> <p>○作業内容と目標の確認をする。</p>	<p>□ホワイトボードにて座席やルール、作業内容の確認などができるよう視覚的支援を行う。</p> <p>□座席に関しては個の特性に応じて配置する。グループで行う場合は集中して作業に取り組むことのできるメンバーで構成するよう留意する。</p> <p>□作業学習でのルール（あいさつや言葉遣い、35分間集中すること）確認を毎回行うことにより定着が図れるよう配慮する。</p>
展開 40分	<p>○各自、作業内容を班で確認を行う。</p> <p>○必要なものがあるか確認を行う。</p> <p>○貼り絵作業を開始する。</p> <p>○開始25分後、出来具合を全員で確認し、最終調整が必要な個所に対して意見を出し合う。</p> <p>○片づけを行う。</p> <p>○作業日誌を配布し記入する。</p>	<p>□教員が支援を行い過ぎないように留意する。</p> <p>□座席は個の特性に応じて配置するが、作業状況や個のコンディションに留意し、必要に応じて変更する。</p> <p>□個に応じて作業を円滑にするための道具を工夫する。 （例：ピンセットや指を拭くためのタオルなど）</p> <p>◆アー①②③【観察】</p> <p>◆イー①②【観察、作品】</p> <p>□活動の進捗状況を把握し、適宜助言する。</p> <p>□全員が参加できるよう意見の例などを挙げる。</p> <p>□作業中に工夫していた生徒がいれば、良い例として取り上げることで自信を持たせられるようにする。</p> <p>□意見を出しやすい雰囲気になるようにする。</p> <p>◆ウー①②【観察】</p>
まとめ 5分	<p>○本時の講評を聞く。</p> <p>○完成に近づいている場合は、次週、数名で仕上げを行うことを連絡する。</p>	<p>□本時の取り組みに自信が持てるよう配慮する。課題を提示する際もプラスの事柄を挙げてから行うなど次回へのモチベーションにつなげるようにする。</p> <p>□次回の予定を伝えることで見通しが持てるようにする。</p>